

	佳作句	名前	都道府県	学校名	学年
1	寒月やつひに帰らぬ遣唐使	熊倉潤	茨城県	東京大学	2
2	教へ子に囲まれてゐる薄暑かな	熊倉潤	茨城県	東京大学	2
3	先頭で前ならえする春隣	田畑慎吾	茨城県	法政大学	1
4	花冷えにしまい忘れた指輪かな	田畑慎吾	茨城県	法政大学	1
5	真桑瓜転がしてをる赤子かな	熊倉潤	茨城県	東京大学	2
6	星月夜義足をつけたまま逝きぬ	熊倉潤	茨城県	東京大学	2
7	銀座でのことは忘れておでんかな	熊倉潤	茨城県	東京大学	2
8	象の鼻息に吹かれしチューリップ	熊倉潤	茨城県		2
9	かはほりや平安京に夜来る	熊倉潤	茨城県	東京大学	2
10	鈍行の窓に横顔風光る	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
11	鶏頭や飛行機雲の途切れをり	榮朋美	茨城県	筑波大学	1
12	薫風に袴の襷を揃えたり	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
13	トマト煮るインターフォンはまだ鳴らず	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
14	暗雲を追い越し泳ぐみずすまし	梅田恭平	茨城県	帝京大学	1
15	草末に蠅取蜘蛛の混じりたる	梅田恭平	茨城県	帝京大学	1
16	泣いてるの？ 笑っているの？ レモン切る	田畑慎吾	茨城県	法政大学	1
17	外祖母の摘む手の温し冬苺	田畑慎吾	茨城県	法政大学	1
18	冬紅葉ポケットの先ほころびぬ	田畑慎吾	茨城県	法政大学	1
19	深爪の痛みこらえて夏果てぬ	田畑慎吾	茨城県	法政大学	1
20	星が飛んだら音量を下げて下げて	田畑慎吾	茨城県	法政大学	1
21	忘れたい忘れたくない昼寝覚	田畑慎吾	茨城県	法政大学	1
22	茶摘女は電車の方を向かざりし	熊倉潤	茨城県	東京大学	2
23	桜道紛れてラーメン旗が立つ	照屋 太司	茨城県	筑波大学	3
24	マフラーの手編みか否か質されし	熊倉潤	茨城県	東京大学	2
25	階段を昇り降りして春深む	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
26	半分は私物なりけり花埃	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
27	さびしいと言わせてをりぬ蓬餅	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
28	バックミラー越しに小さく山笑ふ	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
29	声援の語尾高くあり春の蝶	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
30	春の水いっぱい吸ったシャツを干す	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
31	雲の峰隣の車ギアを切り	榮朋美	茨城県	筑波大学	1
32	音量を小さくしながら秋が来る	釜野 晃	茨城県	筑波大学	1
33	西日中時計の多い部屋に入る	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
34	手を繋ぐ距離でもないよ金木犀	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
35	帰り待ちくたびれをりて髪洗ふ	石塚直子	茨城県	筑波大学	1
36	ストローの口紅の跡青嵐	大橋 文子	東京都	東京女子大学	2
37	私の強い弟とて夏隣	木村 聡	東京都	中央大学	1
38	流れ星落つる 永遠とは何ぞ	木村 聡	東京都	中央大学	1
39	カメラマンは薔薇を觀賞してをらず	恩田 祐輔	神奈川県	東京大学	1
40	噴煙の入道雲を召喚す	恩田 祐輔	神奈川県	東京大学	1
41	二番線は花野に呑み込まれてをり	恩田 祐輔	神奈川県	東京大学	1
42	立枯れの枝の太さや油照	恩田 祐輔	神奈川県	東京大学	1
43	あなたとの距離を結びて手糸編む	小谷真由子	愛知県	梅花女子大学短期大学部	2
44	恋冷ますため雨月の空を見上げおり	小谷真由子	愛知県	梅花女子大学短期大学部	2
45	メールより声聞きたくて初電話	小谷真由子	愛知県	梅花女子大学短期大学部	2
46	壁に背をつけ手つかずの心太	石塚直子	滋賀県	龍谷大学	4

47	向日葵や体重計の針揺れる	石塚直子	滋賀県	龍谷大学	1
48	炎天に棒高跳の伸び上がる	西川 修一郎	京都府	龍谷大学	4
49	黙阿弥の悪人蝶を放ちけり	西川 修一郎	京都府	龍谷大学	4
50	約束を迫られてをり鶏頭花	中津 由貴	京都府	同志社大学	1
51	凜として日輪草に向き合はむ	齊藤慶一	京都府	佛教大学	4
52	田の稲を神の息吹が撫でてゆく	日高悠登	京都府	龍谷大学	2
53	冷やし飴君の掌(て)が好き君が好き	松岡由希	京都府	梅花女子大学短期大学部	2
54	三日月の欠けた部分をくださいな	松岡由希	京都府	梅花女子大学短期大学部	2
55	春の虹落ちる雫は七色か	松岡由希	京都府	梅花女子大学短期大学部	2
56	静脈や開ければ点る冷蔵庫	西川修一郎	京都府	龍谷大学	4
57	なの花や泣くと笑ふはおなじこと	西川 修一郎	京都府	龍谷大学	4
58	蜂蜜の瓶傾ける入梅かな	西川 修一郎	京都府	龍谷大学	4
59	ものがたり金魚いくつも落としては	西川 修一郎	京都府	龍谷大学	4
60	河童忌や裏も鏡の柱あり	西川 修一郎	京都府	龍谷大学	4
61	星月夜ほのぼの灯る夢の街	辻崎 貴之	京都府	龍谷大学	1
62	新緑の中玄石のNとN	綿貫明日香	京都府	佛教大学	4
63	咲くならば泰山木の花となる	綿貫明日香	京都府	佛教大学	4
64	ブランコの軋む音のみ星月夜	齊藤慶一	京都府	佛教大学	4
65	万緑や葉子の変を教えつつ	綿貫明日香	京都府	佛教大学	4
66	携帯の聞き取りにくき極暑かな	齊藤慶一	京都府	佛教大学	4
67	兄弟のそろひし生家西瓜切る	齊藤慶一	京都府	佛教大学	4
68	夕立の端っこで君待ちにけり	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
69	林檎拭くため真っ白な雲ちぎる	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
70	朝露やミニチュアの街動き出す	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
71	レポートの数行残る立夏かな	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
72	木の芽風たまに買ひ足す調味料	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
73	ラケットのグリップ固し雲の峰	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
74	起し絵の子に赤き飴青き飴	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
75	マネキンに顔なく暑さ残りけり	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
76	空席によく顔向ける扇風機	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
77	ビーカーの水溢れ出す残暑かな	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
78	凍滝や瞳閉じても眼に残る	高橋日奈	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
79	ひまわりのように一途に向き合うよ	平間恵梨	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
80	電波とび受け答える蝙蝠か	平間恵梨	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
81	ハンカチにくるんで捨てる苦い恋	中島望	大阪府	梅花女子大学短期大学部	1
82	向日葵が咲くころまでにダイエット	朝比奈穂恵	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
83	夕焼けに影を並べて告白す	上岡美菜子	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
84	蟻地獄浜辺の君に溺れいて	矢野千夏	大阪府	梅花女子大学短期大学部	1
85	遠雷や戦後生まれの父頑固	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
86	雲の峰連投まけるまで続く	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
87	沈黙はイエスととりぬ黄水仙	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
88	アルバイト資格は不問雲の峰	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
89	箱男読み終へ守宮はり付きぬ	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
90	百日紅母の愛車はバイクなり	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
91	目覚めれば頭痛我鬼忌となりけり	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
92	緑陰や初版と書かる文庫本	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
93	虎が雨遥か昔の未練かな	石川公美子	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2

94	天仰ぐ猫の目光る鯛雲	堺久実	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
95	笛の音や走り寄る手の金魚玉	平間恵梨	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
96	好きだからあえて逢わない冬の空	橋本千佳	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
97	水玉の迷いて落ちる梅雨の窓	加藤由起子	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
98	絵硝子に射し込む夏日未来へと	上岡美菜子	大阪府	梅花女子大学短期大学部	2
99	香水の残り香は嘘君の去る	矢野千夏	大阪府	梅花女子大学短期大学部	1
100	溶け氷夢のかよい路恋終わる	南佳苗	大阪府	梅花女子大学短期大学部	1
101	星涼し鎬を持ちし日本刀	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
102	睡蓮や声かけること躊躇ぬ	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
103	終戦日おかずの残り温める	羽田大佑	大阪府	京都産業大学	1
104	ジーパンのふたり祭の道外れ	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
105	滋酔郎忌や流星の旅支度	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
106	鳥の名の新幹線や秋晴るる	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
107	軒しのぶ大きな船のオルゴール	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
108	片思ひ好きの後輩金魚玉	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
109	旅行記の全五巻なり青田風	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
110	泳ぎ来し少年耳を全て出し	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
111	遅刻せし道長々と夏帽子	中山奈々	大阪府	龍谷大学	2
112	さくらさくらガラスの底の海の色	藤田 亜未	大阪府	大手前栄養学院専門学校	4
113	龍淵に潜むや父は超ゆるべし	渡邊康治	兵庫県	神戸大学	4
114	向日葵の礼儀正しき青き空	伊藤大地	兵庫県	岡山県立大学	2
115	パステルの青に誘われ春の虹	市川優	兵庫県	梅花女子大学短期大学部	1
116	蜜豆の豆ころがして恋語り	市川優	兵庫県	梅花女子大学短期大学部	1
117	蜜豆や気持ちも恋もひかえめに	村上朋杏	兵庫県	梅花女子大学短期大学部	2
118	夕涼みピンクの空を一人占め	岩橋由子	兵庫県	岡山県立大学	1
119	風を待ちたる風鈴の心かな	村上朋杏	兵庫県	梅花女子大学短期大学部	2
120	時の日も研究室は時の外	杉田菜穂	奈良県	大阪市立大学大学院	1
121	げっこうがわがみちてらすさやかに	仲川裕樹	奈良県	奈良県立盲学校	1
122	優しい手冬の陽だまりみたいだよ	藪本舞	奈良県	奈良県立盲学校	1
123	故郷から送られ来るはスイカの写メール	水根郁恵	鳥取県	岡山県立大学	1
124	鮎釣りの少年の腕小麦色	山下亜祐美	岡山県	岡山県立大学短期大学部	2
125	手花火を一人でするは切なくて	難波可奈絵	岡山県	岡山県立大学	1
126	赤とんぼ懐しき日の空を呼ぶ	坂田純	岡山県	岡山県立大学	2
127	大声で向日葵笑う青い空	佐桑きみ江	岡山県	岡山県立大学	2
128	雪とけて空にもとける裸富士	宍倉康文	岡山県	岡山県立大学	2
129	恋愛は先のぼやけた蜃気楼	三宅順	岡山県	岡山県立大学	2
130	虹の先私の知らない街がある	難波可奈絵	岡山県	岡山県立大学	1
131	初恋はアイスクリームのひとくちめ	牧野絢子	岡山県	岡山県立大学	1
132	燦々と肌も心も灼く猛暑	本多正典	岡山県	岡山県立大学	1
133	思い出す懐かしき顔牡丹かな	平松あい子	岡山県	岡山県立大学短期大学部	2
134	風鈴の音の向こうに見える夏	岩田優花	岡山県	岡山県立大学	
135	一瞬の時をとどめる青田かな	岩田優花	岡山県	岡山県立大学	
136	風鈴に真赤な夕日映りけり	山下亜祐美	岡山県	岡山県立大学短期大学部	2
137	葉桜を連休の風吹き抜ける	山下亜祐美	岡山県	岡山県立大学短期大学部	2
138	向日葵を頭に飾り海へ行く	香本明子	岡山県	岡山県立大学短期大学部	2
139	風鈴の音色を楽しむ日曜日	香本明子	岡山県	岡山県立大学短期大学部	2
140	待たせたなバイクをふかす夏の夜	朴世敏	岡山県	岡山県立大学	3

141	青田道かける孫と歩く祖父	永山梨紗	岡山県	岡山県立大学	1
142	食卓を彩るトマトが大嫌い	難波寛和	岡山県	岡山県立大学	2
143	君想う白粉花の花言葉	三村和誠	岡山県	岡山県立大学	2
144	消灯後いとわずらわし蚊の羽音	武田裕輝	岡山県	岡山県立大学	2
145	あじさいや君の心の変わりなく	頓宮奈美	岡山県	岡山県立大学	1
146	焼けてゆく君の背中にセミ止まる	菅原菜津子	岡山県	岡山県立大学短期大学部	2
147	手をつなぐ桜並木を口実に	菅原菜津子	岡山県	岡山県立大学短期大学部	2
148	大きめの制服で撮る桜門	山本百希奈	広島県	岡山県立大学	2
149	夏の日の木漏れ日たちが話したず	谷本由衣	香川県	岡山県立大学	1
150	紫陽花がビルの隙間に咲き誇る	青木啓介	香川県	岡山県立大学	2
151	サッカーのゴールに燃える炎天下	佐々木将晴	香川県	岡山県立大学	1
152	満月の落とす光とレモンの滴	谷本由衣	香川県	岡山県立大学	1
153	放課後の空の高さや夏休み	竹内幸大	徳島県	阿南工業高等専門学校	5
154	綿毛と共に私も飛びたい春の風	今井宏美	愛媛県	岡山県立大学短期大学部	2
155	まなぶたも冷えてきました椿の実	中津由貴	愛媛県	同志社大学	1
156	秘め事の秘めたるままに冬の梅	中津由貴	愛媛県	同志社大学	1
157	鯛雲たしかめながら乗る電車	中津 由貴	愛媛県	同志社大学	1
158	弟と見つけた大きな蛇の衣	野島愛	福岡県	九州栄養福祉大学	
159	入学式足の生えたるランドセル	大田千晶	福岡県	九州栄養福祉大学	1
160	いっせいに飛び立つ春の可能性	大田千晶	福岡県	九州栄養福祉大学	1
161	屋根の上姉妹で見ている花火かな	古野智穂	福岡県	九州栄養福祉大学	
162	おかえりと祖父に一言魂迎え	古野智穂	福岡県	九州栄養福祉大学	
163	靴とばし姉と戦うぶうらんこ	松田亜由美	福岡県	九州栄養福祉大学	
164	父からの慣れないメール夏の夜	古藤愛里沙	福岡県	九州栄養福祉大学	1
165	初夏やニュージーランドの牧場の朝	泉里紗	福岡県	九州栄養福祉大学	
166	教室よりいつも海見え青葉騒	児玉紗季	福岡県	九州栄養福祉大学	1
167	犬連れて駆け来る少女さくらんぼ	児玉紗季	福岡県	九州栄養福祉大学	1
168	登園の子の頬光るさくらんぼ	土谷啓子	福岡県	九州栄養福祉大学	
169	知らないうちに仲良くなってる父と友	水谷オリエ	福岡県	九州栄養福祉大学	
170	先生と言葉を交わす春の月	大田千晶	福岡県	九州栄養福祉大学	1
171	青葉雨うたれる少年木のごとく	大田千晶	福岡県	九州栄養福祉大学	1
172	冬ざれの万里の長城駆け上る	大田千晶	福岡県	九州栄養福祉大学	1
173	日傘さして行くは郊外季語探し	大田千晶	福岡県	九州栄養福祉大学	1
174	蛙鳴くテレビの様な夜の窓	古野智穂	福岡県	九州栄養福祉大学	
175	僕一人西瓜に塩は反対派	吉田裕	福岡県	九州栄養福祉大学	
176	野菜の味少し深まり夏果てる	吉田裕	福岡県	九州栄養福祉大学	
177	買ってきたそうめんのつゆ母の味	塚本萌	福岡県	九州栄養福祉大学	
178	弟の宿題手伝う晩夏の夜	三木真実	福岡県	九州栄養福祉大学	
179	親もとを離れてさびし鯉のぼり	島村佳江	福岡県	九州栄養福祉大学	
180	たんぼぼや故郷を離れ歩み出す	島村佳江	福岡県	九州栄養福祉大学	
181	花かおるばあちゃんに行く熊本城	島村佳江	福岡県	九州栄養福祉大学	
182	七夕や書けずに終わる願い事	島村佳江	福岡県	九州栄養福祉大学	
183	創設者の銅像濡らす五月雨	上野智也	福岡県	九州栄養福祉大学	1
184	誰からも連絡来ない春景色	上野智也	福岡県	九州栄養福祉大学	1
185	兄さんに捕ってもらったかぶと虫	甲斐田亮	福岡県	九州栄養福祉大学	1
186	母よりの向日葵絵はがき「がんばって」	古藤愛里沙	福岡県	九州栄養福祉大学	1
187	観察の朝顔枯らす夏休み	泉里紗	福岡県	九州栄養福祉大学	

188	花冷えや廊下の机に人はなし	泉里紗	福岡県	九州栄養福祉大学	
189	築見ては春確かめる室見川	金川将志	福岡県	九州栄養福祉大学	
190	志賀の山近々と見る冬の空	金川将志	福岡県	九州栄養福祉大学	
191	校庭に鉄床高く夏休み	金川将志	福岡県	九州栄養福祉大学	
192	かき氷溶けて忘れし君のこと	坂本千穂	熊本県	崇城大学	3

